

臨床工学科 カリキュラムツリー

DP1. 医療機器の安全管理と操作に関する知識・技能を習得する。 <ul style="list-style-type: none"> • 人体の構造と機能、疾病、治療法に関する医学知識を習得し、臨床工学技士の専門分野で活躍できる。 • 医療機器の原理、操作、安全管理に関する知識を習得し、適切な医療機器の選択、操作、保守管理ができる。 • 臨床工学技士に関連する法規、倫理、安全管理に関する知識を習得し、医療現場で適切な判断と行動ができる。 	DP2. チーム医療における臨床工学技士の役割を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> • 医療機器の操作、保守管理、トラブルシューティングに必要な基本的な技術を習得し、安全かつ正確に医療機器を扱える。 • 臨床現場で発生する問題に対し、必要な情報を収集し、分析し、解決策を提案できる問題解決能力を身につける。 	DP3. 臨床工学技士に必要な基礎知識を修得している。 <ul style="list-style-type: none"> • 国家試験合格に求められる、医学および工学にわたる広範な専門知識を体系的に理解し、修得している。 • 臨床工学の動向を的確に把握し、自らの課題を解決するための効果的な自己学習能力を身につけている。 	DP4. 医療に貢献する社会性と倫理観をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> • 患者の人権を尊重し、倫理観に基づいた医療を提供できる。 • 常に向上心を持ち、自己学習を継続し、専門性を高めることができる。 • 医療人として協調性を持ち、他の医療従事者と円滑なコミュニケーション力を身につける。 • 医療人として必要な責任感、マナー、モラルを身につけ、医療現場で適切な行動をとることができる。 	DP5. 臨床現場を支えるプロフェッショナルになる力を身につける。 <ul style="list-style-type: none"> • 卒業後も継続的に学習し、自己研鑽に励むことができる。 • 臨床工学技士としての専門性を高め、社会に貢献できる人材となる。
---	---	---	---	--

3 年次	卒業試験
------	------

	臨床実習
--	------

これまでの学習の集大成として、高度な専門知識と実践的な臨床能力を統合し、国家試験に合格できる実力を養う。

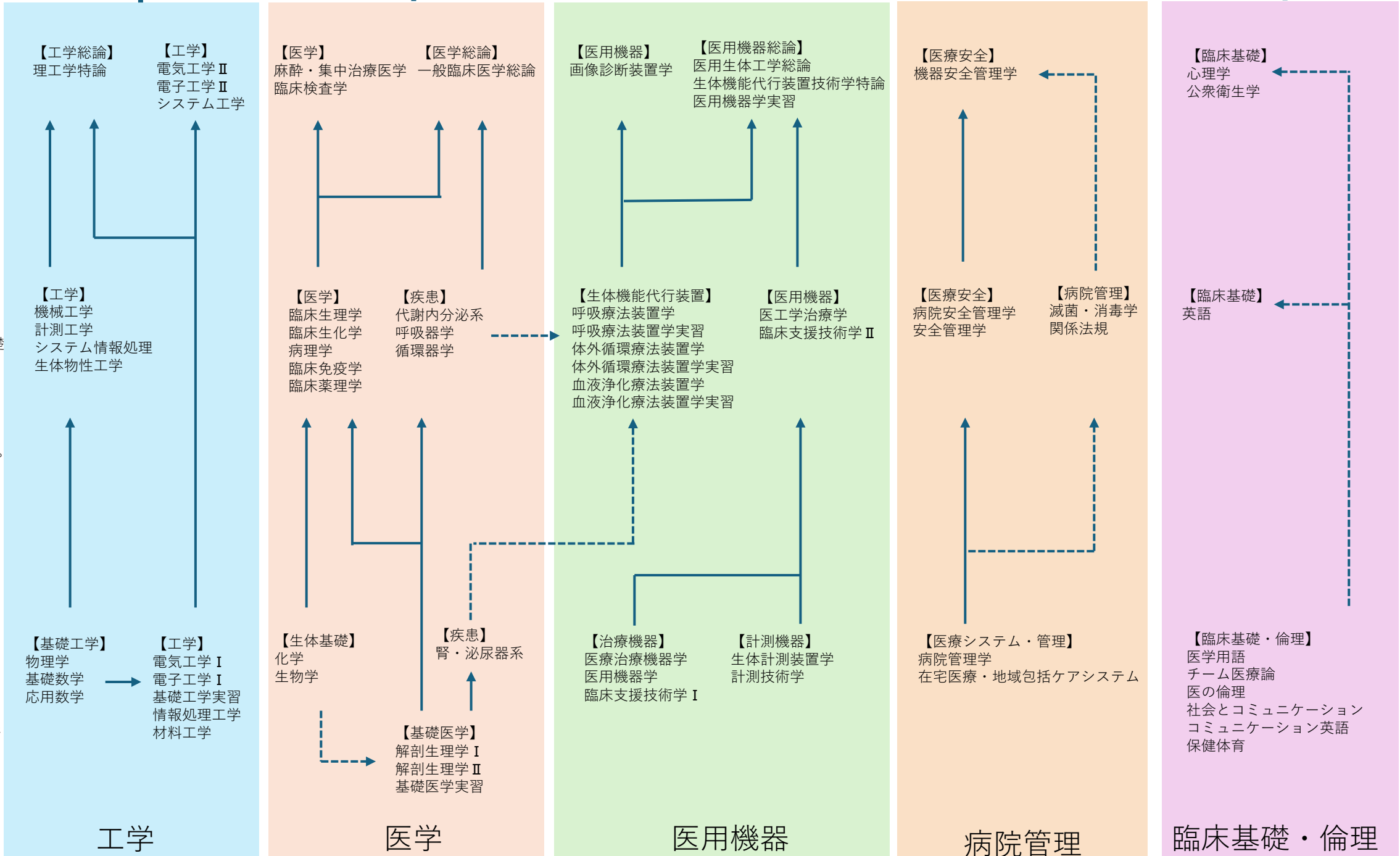
臨床工学技士として医療現場で貢献できる即戦力となることを最終的な目標とする。

2 年次

1年生で習得した基礎知識を基盤として、臨床工学の専門分野における知識を深化させ、多様な医療機器の原理と操作、および関連する医学知識を習得する。

1 年次

臨床工学技士として必要な基礎的な知識と多岐にわたる専門分野の導入を学ぶ。



↑ 必須関連
↑ 補足関連